

簡易無線通信を活用したシカのわな捕獲通知システムの開発・実証

- 梶原町は、シカ・イノシシによる農林業被害の増加に対応するため、世界初のジビエ解体処理車(ジビエカー)とジビエ加工処理施設(「ゆすはらジビエの里」)を導入し、「ジビエの村づくり」を推進しているが、山間部のわなの巡回作業の軽減と捕獲から処理までの工程の迅速化が課題。
- このため、四国森林管理局は、無線通信会社((株)フォレストシー)、町、猟友会と連携し、簡易無線通信を活用し、子機が山間部に設置した多数のわなの捕獲作動を感知し、中継機や親機を經由して狩猟者の携帯電話に通知するシステムを開発・実証。
- 平成29年12月、梶原町の国有林内の区域でくりわな5基、小型囲いわな3基で実証を開始したが、平成30年7月豪雨・台風等で中断し、11月に再開。これまでにシカ4頭を捕獲。うち2頭はジビエに活用(平成30年11月末現在)。

■簡易無線通信を活用したわな捕獲通知システム



Forestsea 管理画面の例

オリワナ通信 管理画面

履歴一覧

子機・中継機の利用者名 捕獲通知等が送信された日時

グループ管理	グループ名	利用者	端末名称	機種種	記録日時	記録理由	位置情報...	
グループ管理	処理施設(仮)	huser01	子機23	狩り機	2018-06-11 11:46	捕獲:イノシシ	地図	詳細
グループ管理	処理施設(仮)	huser01	子機24	狩り機	2018-06-08 17:25	空北さ	地図	詳細
グループ管理	処理施設(仮)	huser01	子機22	狩り機	2018-06-08 10:25	捕獲:イノシシ	地図	詳細
グループ管理	処理施設(仮)	huser01	子機21	狩り機	2018-06-08 10:24	捕獲:シカ	地図	詳細

